

**猫・犬の輸送に関するご利用条件**

ペット・動物を機内にお連れになるには、下記の条件を必ず満たす必要があります。条件を満たさない場合、動物の運搬はお断りいたします。本書類にご署名の上、ご出発当日に空港にてご提示ください。

**動物（ペット）の輸送に関するご利用条件**

- エールフランス航空運航便では、フランスが規定する第1及び第2カテゴリーの危険性の高い犬種の輸送は禁止されています。

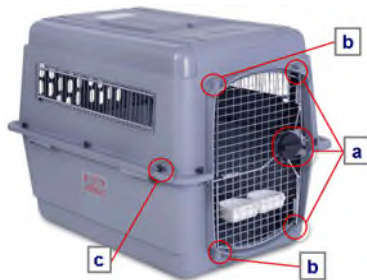
**ご注意ください！** エールフランス航空がお預かりする際、犬が単なる類似性から第1及び第2カテゴリーの犬種とみなされる可能性がある場合は、第1及び第2カテゴリーの犬種でないことを証明する獣医師証明書（診断書）を提示する必要があります。疑わしい場合に獣医師証明書がなければペットの輸送を拒否するものとします。

- 獅子鼻の犬または猫（例：バグ、ブルドッグ、ボクサー、ペキニーズ、シーズー、ベルシャ猫等）の貨物室での輸送は禁止されています。短頭種（獅子鼻）の動物は貨物室での輸送に適していません。

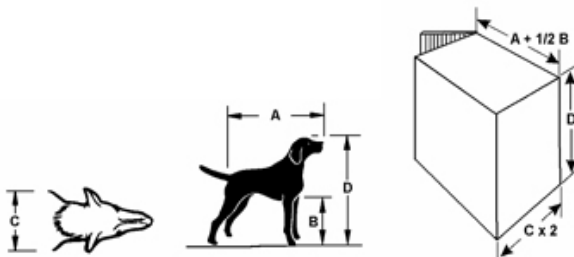
**輸送用ケージに関する必要条件：（国際航空運送協会：IATA規定）**

- ✓ 硬質プラスチック又はファイバーガラス製のケージのみを受け付けます。
- ✓ 車輪が付いている場合は、ケージから車輪を取り外す必要があります。格納式の車輪は、テープでしっかりと固定してください。
- ✓ ドアは、2箇所（扉の上部と下部）に同時に鍵がかかる施錠システムのものである必要があります。(a)
- ✓ 蝶番は扉の上部、下部を少なくとも1.6 cm超えるサイズでなければなりません。(b)
- ✓ ケージ上部と下部は必ずボルトで固定されている必要があります。あらゆる他の施錠システムは固く禁じられています。場合によっては、ボルトを補助する他の施錠システムでも構いません。(c)
- ✓ 動物が立ち上がって頭をあげてもケージの天井に触れないものである必要があります。また方向転換し、十分に横になれるスペースがなければなりません。
- ✓ ケージには、エサ入れ用と水入れ用に分かれた容器が付いている必要があります。容器は空の状態固定し、ケージを開けなくても外側から届くようにしておかなければなりません。

お引き受け可能な輸送容器の例



お引き受けできない輸送容器の例



- A = 鼻から尾の付け根までの動物の体長
- B = 地面から足の付け根（肘関節）までの高さ ケージの縦： $\frac{1}{2}$ B以上 ( $\frac{1}{2}$ B = 足の長さの半分)
- C = 動物の肩幅 ケージの幅：Cの2倍以上
- D = 動物が立った時に、天井に耳や頭がつかない程度 ケージの高さ：D以上

**ペット・動物を快適かつ安全に輸送するためのその他の条件**

- ✓ ケージにはブランケット、新聞紙、その他の吸湿材を床部分に敷くことをお勧めします。藁の使用は禁止されています。
- ✓ ペットは紐や口輪をつけず、またそれらをケージ内に置かないでください。
- ✓ 身体的な衰弱や外傷がなく、鎮静剤/精神安定剤を投与されていない状態である必要があります。

**貨物室でのペット・動物輸送に必要な条件（チェックを入れてください）**

自分の犬は、 <u>フランスが規定</u> する第1及び第2カテゴリーの犬種ではありません。	
形態的に類似している場合、自分の犬が第1及び第2カテゴリーの犬種でないことを証明する獣医師証明書を保持しています。	
自分の犬または猫は短頭種ではありません（鼻が獅子鼻または平たくない）。	
動物の輸送ケージは、上記のIATAリストに掲載されている規則に則っています。	
自分の犬または猫は身体的な衰弱や外傷がなく、鎮静剤を投与されていない状態です。	

上記の条件を一読し、条件を満たさない場合、動物の輸送を拒否するものとするに同意します。

姓、名および署名： .....

下記欄は航空会社で使用しますので、何も記入しないでください

日付：.././... フライト番号：AF..... 渡航先：